



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社BlueMeme 上場取引所 東
 コード番号 4069 URL https://www.bluememe.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松岡 真功
 問合せ先責任者（役職名） コーポレート本部長（氏名） 山口 英利（TEL）03-6712-8196
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,088	△9.9	△58	—	△70	—	△67	—
2024年3月期中間期	1,208	9.5	114	△31.9	116	△27.8	58	△45.7

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △71百万円（—%） 2024年3月期中間期 60百万円（△43.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△19.67	—
2024年3月期中間期	16.70	16.24

（注）2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益に関しては、潜在株式が存在するものの1株当たり中間純損失のため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %
	百万円		百万円		
2025年3月期中間期	3,209		2,544		78.9
2024年3月期	3,733		2,609		69.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 2,533百万円 2024年3月期 2,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,510	0.1	0	△100.0	0	△100.0	△50	—	△14.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	3,583,946株	2024年3月期	3,573,946株
2025年3月期中間期	161,707株	2024年3月期	153,807株
2025年3月期中間期	3,426,588株	2024年3月期中間期	3,489,875株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には業績予想や将来の見通しに関する記載が含まれております。これらの記載は本資料の日付時点の情報に基づき作成しており、将来の結果や業績を保証するものではありません。これら将来の見通しに関する記載には様々なリスクや不確定要素が含まれております。このため、実際の業績等は、将来の見通しに関する記載によって明示的あるいは暗黙的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～9月30日)における我が国経済は、一部に弱い動きが見られるが緩やかに回復しており、日本銀行によるマイナス金利の解除などが行われました。欧米先進国においては利下げを開始する動きが見られるものの、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス産業におきましては、そのような状況の中においても、労働力の減少に対応する経営効率化や生産性向上はもとより、テクノロジーの活用により新たな価値や収益を生み出すデジタルビジネスの推進を狙いとするデジタル・トランスフォーメーション(以下「DX」という。)への需要は依然として強く、中でも将来の技術者減少や技術革新に対応するための情報システムの近代化、モダン化への取組が活発であることから、IT投資の需要が引き続き堅調に推移するものと予想される一方、世界情勢の変化を背景に、投資判断の先送りをする傾向が強まる可能性も懸念されております。また、円安傾向が続いていることや海外における物価の上昇などから、米国をはじめとした海外製品の価格上昇が続く傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは「新たな価値を創造し、常識を変え、文化を進化させる」という企業理念のもと、ローコードによる自動化技術及び当社グループ独自のアジャイル開発方法論を活用した、情報システム開発の内製化を推進するサービスを提供することにより、日本企業の国際的競争力を向上させることをミッションとするDX事業を展開しております。

当社グループの事業は、ローコード技術とアジャイル手法を最大限に活かせる当社グループ独自の開発方法論である「AGILE-DX」を活用したコンサルティング・受託開発サービス及び技術者向けトレーニングの各サービスを提供する「プロフェッショナルサービス」と、ローコードプラットフォーム等ソフトウェア製品を販売する「ソフトウェアライセンス販売」から構成されております。「プロフェッショナルサービス」においては、「OutSystems®」を中心としたローコードプラットフォームを活用したコンサルティング及び受託開発の提供が引き続き順調に拡大する中、将来の需要拡大に備えた当社グループ従業員技術者の採用・育成及びサービスパートナーの確保に加え、サービス提供の効率化を促進することや次世代の技術による新規事業のための研究開発にも注力いたしました。「ソフトウェアライセンス販売」においては、「プロフェッショナルサービス」の提供に伴う「OutSystems®」を中心とする当社グループ取扱製品の顧客への定着及び拡販に努めております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,088,463千円(前中間連結会計期間比9.9%減)、営業損失は58,384千円(前中間連結会計期間は114,214千円の営業利益)、経常損失は70,896千円(前中間連結会計期間は116,379千円の経常利益)、親会社株主に帰属する中間純損失は67,415千円(前中間連結会計期間は58,283千円の親会社株主に帰属する中間純利益)となりました。

また、セグメントの業績につきましては、当社グループはDX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は2,870,824千円となり、前連結会計年度末に比べ518,249千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は338,610千円となり、前連結会計年度末に比べ6,308千円減少いたしました。これは主に減価償却による減少であります。

この結果、総資産は3,209,434千円となり、前連結会計年度末に比べ524,557千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は612,458千円となり、前連結会計年度末に比べ458,760千円減少いたしました。これは主に買掛金が減少したことによるものであります。固定負債は52,823千円となり、前連結会計年度末に比べ587千円減少いたしました。これは主にその他(繰延税金負債)が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は665,281千円となり、前連結会計年度末に比べ459,348千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は2,544,153千円となり、前連結会計年度末に比べ65,208千円減少いたしました。これは主に当中間期の損失計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は78.9% (前連結会計年度末は69.9%) となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物 (以下、「資金」という。) は、1,853,674千円となり、前連結会計年度に比べ375,084千円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、273,779千円 (前中間連結会計期間は113,105千円の獲得) となりました。これは主に、仕入債務の減少349,127千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、15,796千円 (前中間連結会計期間は50,272千円の使用) となりました。これは主に、固定資産の取得による支出14,768千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、85,508千円 (前中間連結会計期間は96,754千円の使用) となりました。これは主に、自己株式取得のための預託金の増加91,452千円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月29日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日 (2024年11月14日) 公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228,759	1,853,674
売掛金及び契約資産	1,071,884	740,384
商品及び製品	—	1,044
仕掛品	1,278	2,575
前払費用	62,386	143,738
その他	24,764	129,406
流動資産合計	3,389,073	2,870,824
固定資産		
有形固定資産	153,327	146,795
無形固定資産	4,533	4,012
投資その他の資産	187,058	187,802
固定資産合計	344,918	338,610
資産合計	3,733,992	3,209,434
負債の部		
流動負債		
買掛金	820,871	471,744
未払法人税等	88,078	12,216
契約負債	44,134	60,361
受注損失引当金	—	5,770
その他	118,135	62,364
流動負債合計	1,071,219	612,458
固定負債		
資産除去債務	47,792	47,901
その他	5,618	4,921
固定負債合計	53,410	52,823
負債合計	1,124,630	665,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	971,945	972,582
資本剰余金	962,945	963,582
利益剰余金	917,000	849,585
自己株式	△245,040	△253,500
株主資本合計	2,606,850	2,532,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,476	773
その他の包括利益累計額合計	2,476	773
新株予約権	34	—
非支配株主持分	—	11,130
純資産合計	2,609,361	2,544,153
負債純資産合計	3,733,992	3,209,434

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,208,668	1,088,463
売上原価	599,835	547,504
売上総利益	608,833	540,959
販売費及び一般管理費	494,618	599,343
営業利益又は営業損失 (△)	114,214	△58,384
営業外収益		
受取利息	10	178
為替差益	698	—
貸倒引当金戻入額	2,938	—
公演料収入	—	3,611
その他	211	222
営業外収益合計	3,859	4,013
営業外費用		
支払利息	73	133
為替差損	—	6,416
支払手数料	1,441	79
イベント関連支出	—	9,747
その他	180	150
営業外費用合計	1,694	16,525
経常利益又は経常損失 (△)	116,379	△70,896
特別損失		
固定資産除却損	2,233	—
特別損失合計	2,233	—
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	114,146	△70,896
法人税、住民税及び事業税	48,743	3,066
法人税等調整額	7,119	△3,840
法人税等合計	55,862	△774
中間純利益又は中間純損失 (△)	58,283	△70,122
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	—	△2,706
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	58,283	△67,415

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	58,283	△70,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,092	△1,703
その他の包括利益合計	2,092	△1,703
中間包括利益	60,376	△71,825
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	60,376	△69,118
非支配株主に係る中間包括利益	—	△2,706

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	114,146	△70,896
減価償却費	7,131	10,971
固定資産除却損	2,233	—
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	5,770
受取利息	△10	△178
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,938	—
支払利息	73	133
株式交付費	180	150
支払手数料	1,441	79
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	217,425	331,499
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,557	△2,340
仕入債務の増減額 (△は減少)	△79,685	△349,127
契約負債の増減額 (△は減少)	△44,548	16,227
その他	△87,176	△140,937
小計	123,714	△198,647
利息の受取額	10	178
利息の支払額	△73	△133
法人税等の支払額	△10,545	△75,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,105	△273,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,540	△14,768
資産除去債務の履行による支出	△1,400	—
敷金及び保証金の差入による支出	△39,795	△17
長期貸付けによる支出	△535	△1,085
その他	—	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,272	△15,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	995	1,089
自己株式の取得による支出	△180,917	△8,460
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	85,283	△91,452
リース債務の返済による支出	△673	△522
非支配株主からの払込みによる収入	—	13,837
その他	△1,441	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,754	△85,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△33,920	△375,084
現金及び現金同等物の期首残高	2,224,777	2,228,759
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,190,856	1,853,674

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、DX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、DX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。